

Rocky Work Tool

RW-Tシリーズ 取扱い説明書

【スズキ】スーパーキャリイ・DA16T

品番／RW-T30 〈スーパーキャリイ荷台ハイキャリア〉

この度はロッキーワークツール「RW-Tシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。

常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。

尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。

製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

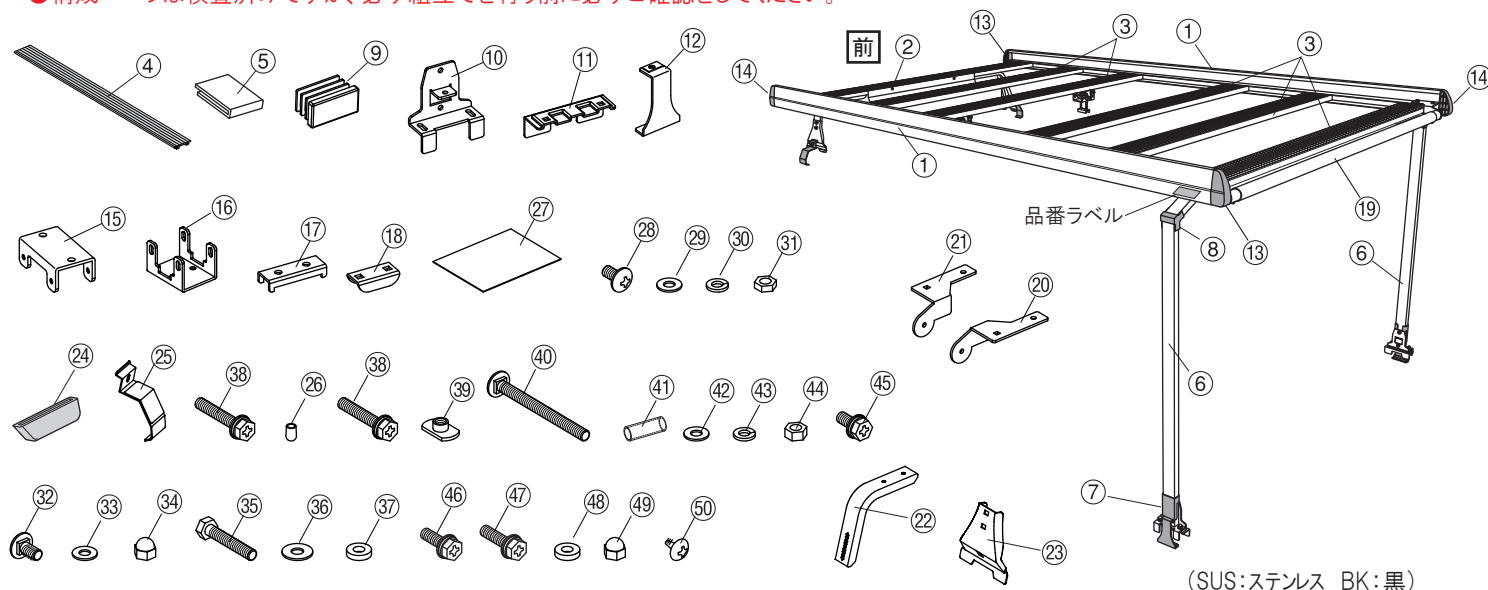
誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

- 本製品は、【スズキ】スーパーキャリイ・DA16T専用となります。
取付けを行う車両が上記に該当しているかの確認を行ってください。 他の車種には取付けできません。
- 後方のゲート(ガード、あおり)を開けての走行は絶対に行わないでください。
- ゲート(ガード、あおり)が「変形」「破損」「ガタツキ」などがある場合は取り付けをしないでください。
- 本製品の取付けには「+ドライバー」「10mmスパナ」「マスキングテープ」「物差し(コンベックス)」「マジック」をご用意していただきますようお願いいたします。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、必ず組立てを行う前に必ずご確認をしてください。



(SUS:ステンレス BK:黒)

No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム	2	⑭	先端キャップ L	2	⑳	保護シート	4	④①	角根ボルトM6x75 BK	4
②	前脚フレーム(整流板付)	1	⑮	鳥居金具(上)	2	㉑	トラスボルト M6 SUS	4	④②	透明チューブφ9	4
③	荷受けフレーム	5	⑯	鳥居金具(下)	2	㉒	ナイロンワッシャー M6	28	④③	平座金M6(小) BK	4
④	フレームラバー	6	⑰	挟み金具(上)	2	㉓	バネ座金M6 SUS	16	④④	バネ座金M6 BK	4
⑤	コの字ラバー	24	⑱	挟み金具(下)	2	㉔	六角ナットM6 3種 SUS	4	④⑤	六角ナットM6 BK	4
⑥	後脚パイプ	2	⑲	ローラーセット	1	㉕	六角ボルトM6x12 SUS	10	④⑥	六角ボルトセットM6x15 BK	16
⑦	脚パイプカバー	2	⑳	ローラー金具 R	1	㉖	平座金M6 (小) SUS	12	④⑦	六角ボルトセットM6x20 SUS	10
⑧	外突カバー	2	㉑	ローラー金具 L	1	㉗	袋ナットM6 SUS	10	④⑧	六角ボルトセットM6x24 SUS	2
⑨	脚パイプ栓	2	㉒	前脚ステー	2	㉘	六角ボルトM6x35 SUS	2	④⑨	ジュラコンワッシャーM6	2
⑩	脚ステーベース A	2	㉓	インナークランプ	2	㉙	平座金M6 (大) SUS	4	④⑩	緩み止め袋ナットM6 SUS	2
⑪	脚ステーベース B	2	㉔	インナー保護キャップ	4	㉚	ゴムパッキン	2	④⑪	タッピングビス5mm SUS	4
⑫	締上げフック	2	㉕	前取付フック	2	㉛	六角ボルトセットM6x35 SUS	6			
⑬	先端キャップ R	2	㉖	安全キャップ	2	㉜	T型ナットM6	12			

【注】取扱説明書の数量は総数を記載しております。使用箇所に分けて入っている場合があります

シグナルマークについて

- シグナルマークは危険のレベルを表します。

それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。

- △危険－取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生します。**
- △警告－取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △注意－取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

取扱い上の注意

- △注意 1車両当り最大積載重量（50kg）を守り、過積載は絶対に行わないでください。
→過積載をしますと、**脱落や破損だけでなく車両の変形、積載物落下等の原因になります。**
- △注意 キャリア取付後、初期ユルミが発生しますので、定期的に各締め付け部にユルミが無い点検してください。
→締め付け部にユルミがあると、**思わぬ脱落事故を起こします。**
- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。本製品の改造による事故責任は一切負いかねますのでご了承ください。
【例】・部品類の穴あけ及び溶接。 ・本製品以外の部品による組立て及び部品交換。
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。

部品交換について

- 部品を破損、紛失された場合は、ご使用の品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にてお買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

事故が 起きた時は

製品の欠陥等により万が一事故が発生した場合は、速やかに販売店または弊社までご連絡ください。
事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご用意して頂く必要があります。
(1)事故製品の確保－事故発生時のままの状態のもの(製品をバラバラにしない)
(2)損害の内容－損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
(3)事故発生状況－日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出
(事故、紛失届)(いつ、どこで、何が、どのように)
*お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky⁺ ロッキープラス株式会社

〒463-0025 名古屋市守山区元郷2-107 TEL(052)778-7876 FAX(052)778-7718

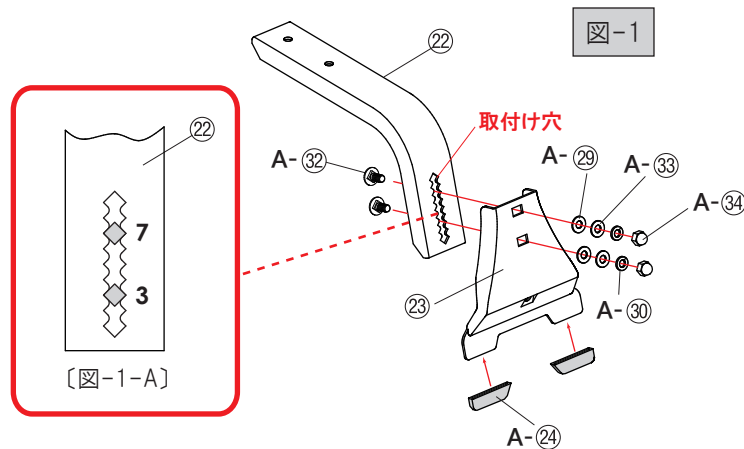
HP <https://www.rocky.ne.jp>

E-mail rocky@rocky.ne.jp

組立て方法①

1. 【前脚セット】2セット組立てます。

②前脚ステー取付け穴の「下から3番目の◇穴と7番目の◇穴」〔図-1-A〕に②③インナークランプを組付け、③③角根ボルトM6、②⑨ナイロンワッシャー ③③平座金M6(小)、③③バネ座金M6、③④袋ナットM6にて**仮組付け**します。その後、②③インナークランプの下端に②④インナー保護キャップを差込みます。〔図-1〕

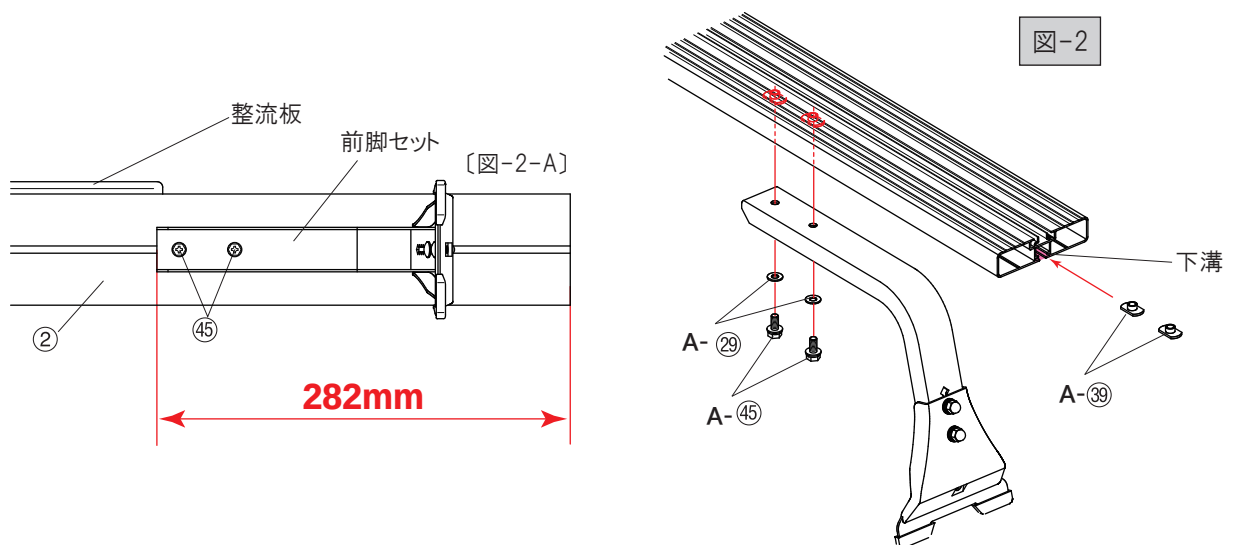


2. 【前脚フレームセット】を1セット組立てます。

②前脚フレーム(整流板付)の下溝に③⑨T型ナットM6を片側2ヶ通しておきます。

「1」で組付けを行った「前脚セット」を②前脚フレーム(整流板付)の下にあてがい、②⑨ナイロンワッシャー、④⑤六角ボルトセットM6×15 BKにて**仮締め**します。〔図-2〕

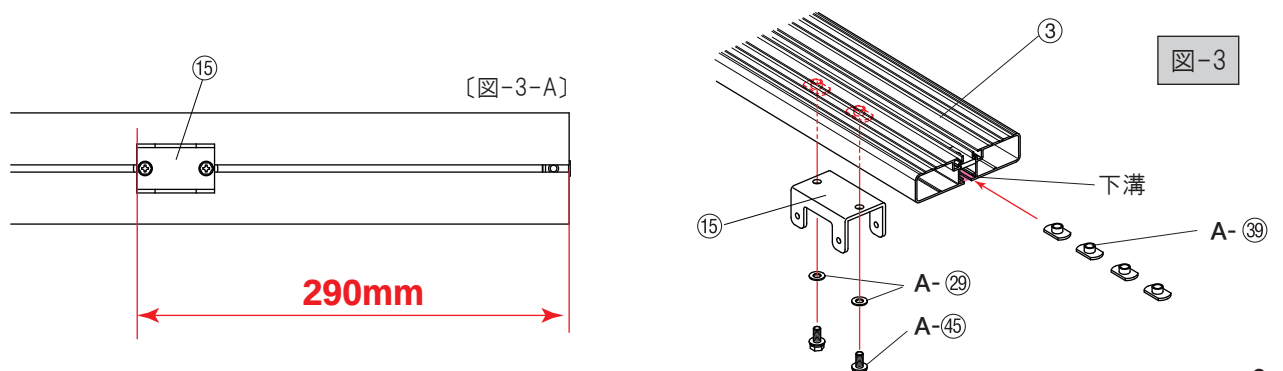
締め付けの際は下記寸法にあわせて**仮締め**を行ってください。〔図-2-A〕



3. 【鳥居荷受けフレームセット】を1セット組立てます。

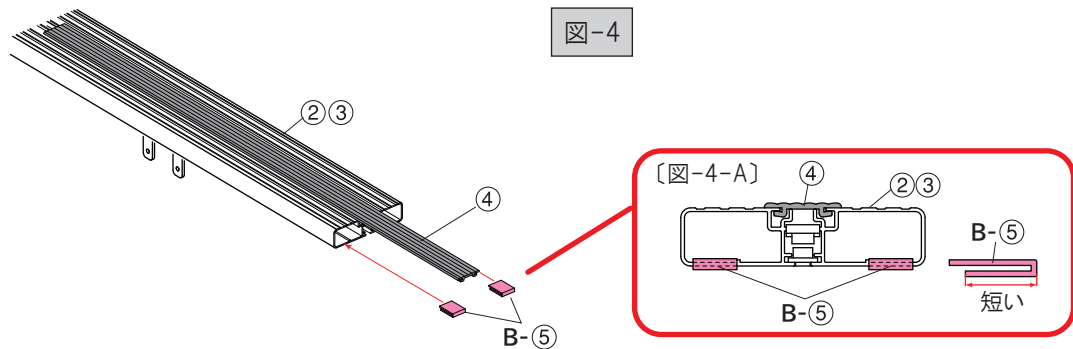
③荷受けフレームの下溝に③⑨T型ナットM6を片側2ヶずつ通しておきます。

下記寸法にあわせて〔図-3-A〕③⑤鳥居金具(上)を③荷受けフレームの下にあてがい、②⑨ナイロンワッシャー、④⑤六角ボルトセット M6×15 BKにて組付けます。〔図-3〕

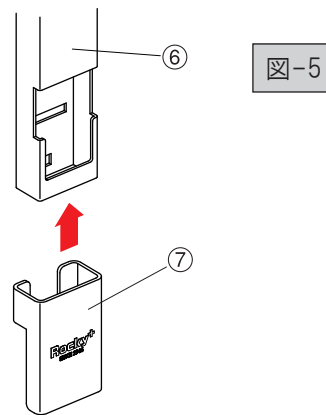


組立て方法②

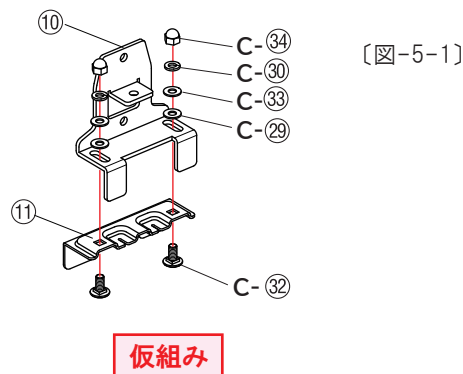
4. 【前脚フレームセット(整流板付)】【鳥居荷受けフレームセット】③荷受けフレームの上溝に④フレームラバーを6本通し、両端下面に⑤コの字ラバーを差し込みます。
この時、⑤コの字ラバーのベラが短い方を下にしてください。〔図-4-A〕



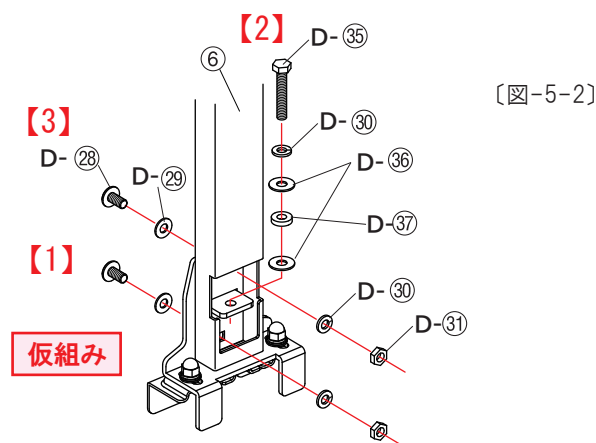
5. 【後脚セット】を2セット組立てます。
1) ⑥後脚パイプに⑦脚パイプカバーを通します。〔図-5〕



- 2) ⑩脚ステーベースAと⑪脚ステーベースBを③②角根ボルトM6×12、②⑨ナイロンワッシャー、③③平座金M6(小)、
③③バネ座金M6、③④袋ナットM6にて⑪脚ステーベースBが動く程度で**仮組み**します。〔図-5-1〕



- 3) ⑥後脚パイプと⑩⑪脚ステーベースABセットを【1】【2】【3】の順番で仮組みして下さい。〔図-5-2〕



組立て方法③

6. 【キャリア枠】を組立てます。〔図-6〕(⑤コの字ラバーの外れに注意してください)

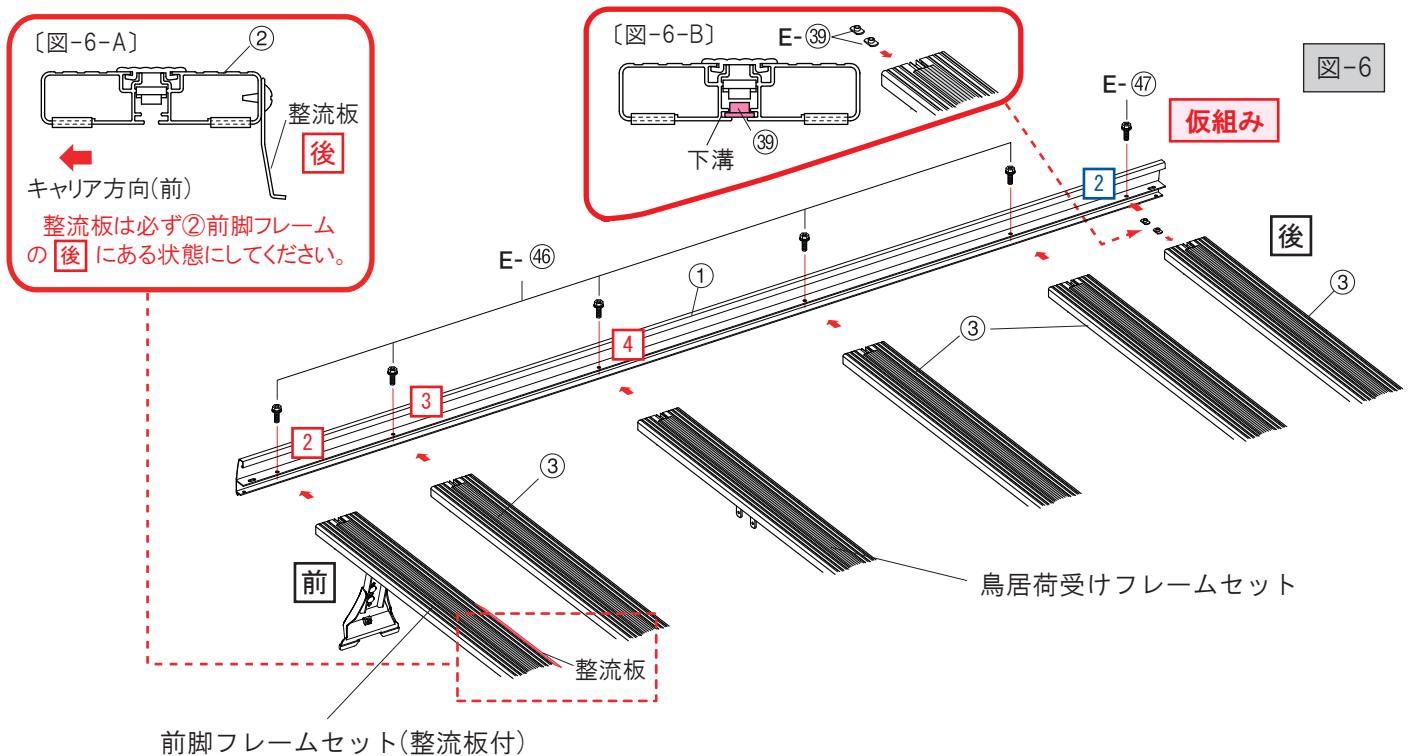
①サイドフレームに【前脚フレームセット(整流板付)】【鳥居荷受けフレームセット】③荷受けフレームを差込みます。
この時、品番ラベル付の①サイドフレームを助手席側にしてください。

- ・「前」から②番目の丸穴には、「組立て方法①-2」で組付けた、【前脚フレームセット(整流板付)】を差し込み、④⑥六角ボルトセットM6×20にて組付けます。

この時、必ず「整流板」が②前脚フレームの【後】にある状態にしてください。〔図-6-A〕

△注意—整流板が【前】にある状態では、高速走行時に異音が発生します。

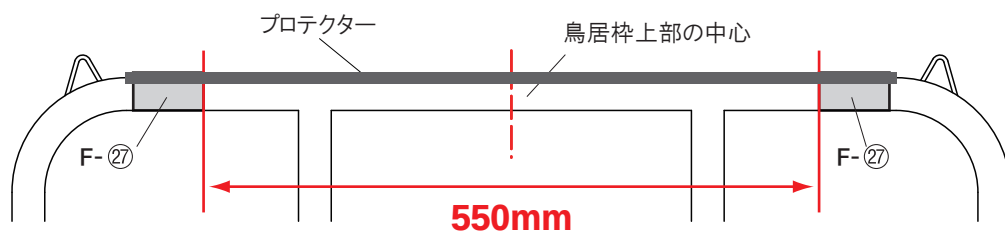
- ・「前」から③番目の丸穴には、③荷受けフレームを差し込み、④⑥六角ボルトセットM6×20にて組付けます。
- ・「前」から④番目の丸穴には、「組立て方法①-3」で組付けた、【鳥居荷受けフレームセット】差し込み、④⑥六角ボルトセットM6×20にて組付けます。
- ・「後」から②番目の丸穴には、③荷受けフレームを差し込み、④⑦六角ボルトセットM6×24にて**仮組み**します。
この時、前もって③⑨T型ナットM6を**片側2ヶずつ**③荷受けフレームの下溝に通しておいてください。〔図-6-B〕



取付け方法①

1. キャビン後方の「鳥居枠」の上部に②⑦保護シートを貼ります。〔図-7〕

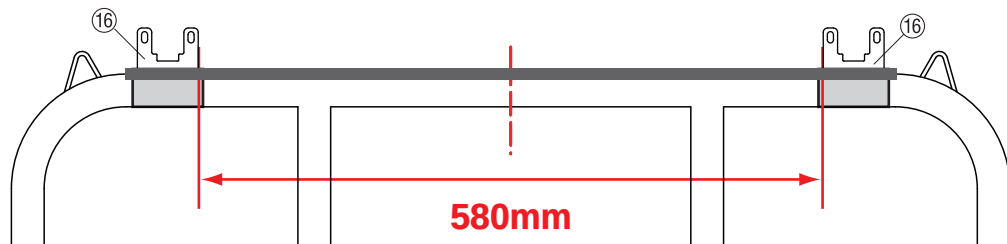
「鳥居枠」上のパイプの中心を計り、マジック等でマーキングをし、左右均等に「550mm」になるように、②⑦保護シートの100mm側を横にして「鳥居枠」全周を巻き込むように左右2か所貼ってください。
この時、プロテクター付き車はプロテクターの上から貼ってください。



取付け方法②

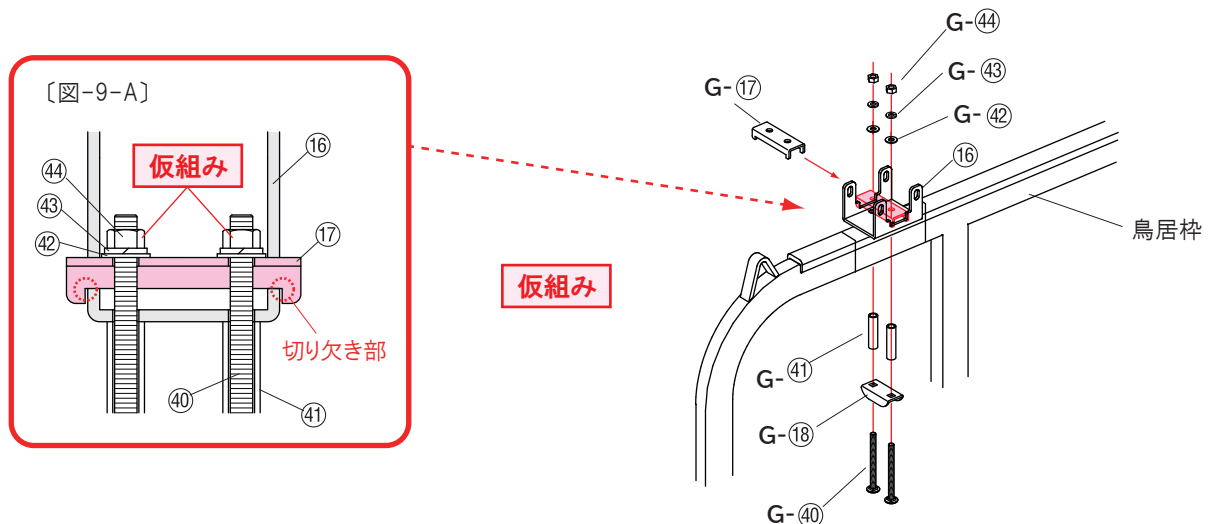
2. 「鳥居枳」の上部に⑯鳥居金具(下)を左右2セット取付けます。
 ⑯鳥居金具(下)の内側が左右均等に「580mm」になるように、「鳥居枳」の上に載せます。
 この時、プロテクター付き車はプロテクターの上に載せてください。〔図-8〕

図-8



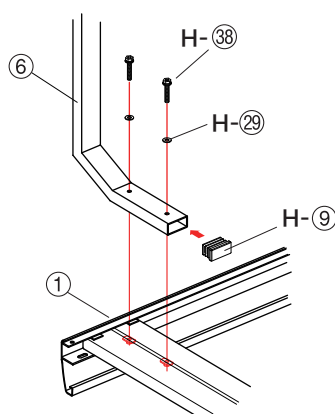
3. ⑯挟み金具(下)の角穴に④角根ボルトM6×75 BKを通し、④透明チューブ差し込みます。
 「鳥居枳」を挟みながら、⑯鳥居金具(下)の丸穴に通し、⑰挟み金具(上)を⑯鳥居金具(下)に被せて
 ④平座金M6 BK、④バネ座金M6 BK、④六角ナットM6 BKで**仮組み**します。〔図-9〕
 この時、⑰挟み金具(上)の切り欠き部と⑯鳥居金具(下)の組込みを確認してください。〔図-9-A〕

図-9

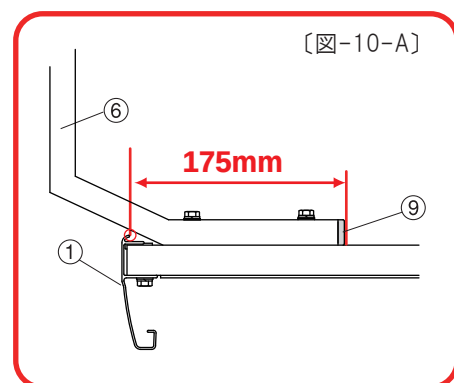


4. 【キャリア枳】の最後部に⑥後脚パイプを左右2か所組付けます。
 ⑥後脚パイプの先に⑨脚パイプ栓を打ち込みます。(2本)
 「組立て方法③」で組立てた【キャリア枳】を裏返し、最後部の③荷受けフレームの下溝に前もって
 通しておいた**片側2つの**③T型ナットM6に、⑥後脚パイプの丸穴を合わせ、③六角ボルトセットM6×35、②9 ナイロン
 ワッシャーで**仮組み**します。〔図-10〕 この時、①サイドフレームの下と⑨脚パイプ栓までの距離を左右2か所
 「175」に合わせます。〔図-10-A〕

図-10

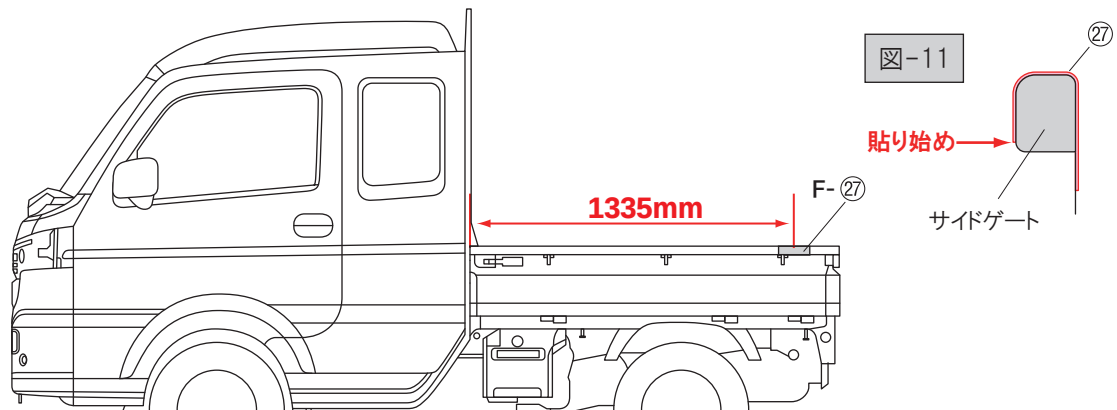


〔図-10-A〕



取付け方法③

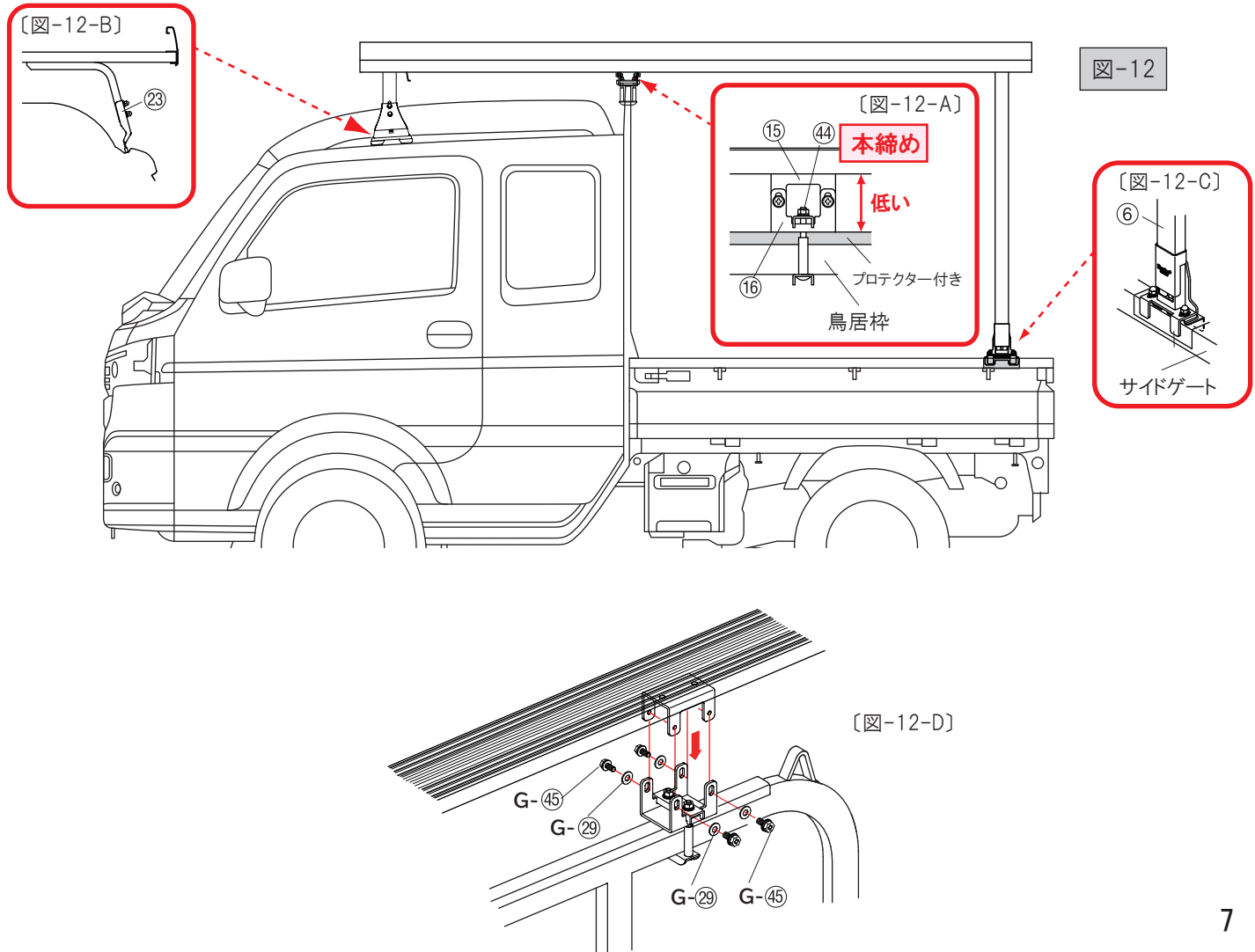
5. ゲート(3方)を車両のレバーにて閉じます。ゲートの上部の「塵・油膜」などを取り除いてください。
 サイドゲートの端から「1335」の所に、②⑦保護シートの中心が来るようにマーキングをして貼ります。
 ②⑦保護シートを貼る際は、130 側を横にして「サイドゲート」に左右対称に2か所貼ってください。〔図-11〕



6. 組立てを行ったキャリアを車両に取付けます。

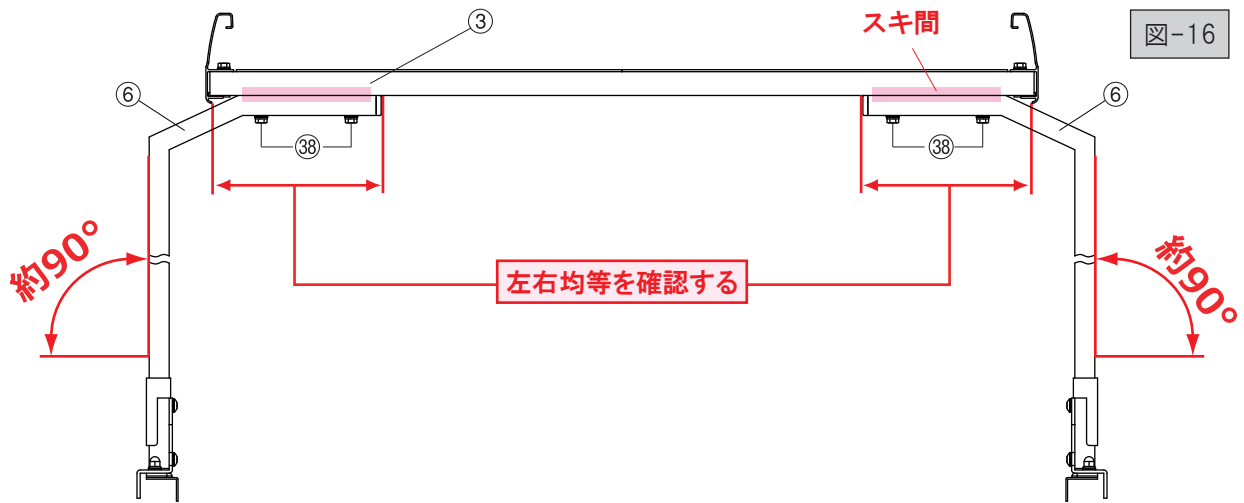
⚠注意 車両に取付ける際は危険な為、必ず3人以上で行ってください。

【鳥居荷受けフレームセット】に組付けの⑮鳥居金具(上)と鳥居枠に取付けた⑯鳥居金具(下)を合わせます。〔図-12-A〕
 その時【前脚フレームセット(整流板付)】の⑳インナーランプはルーフの溝に載せ、〔図-12-B〕
 ⑥後脚パイプの下部はサイドゲート後方に貼った ②⑦保護シートの中心付近に挟み込みます。〔図-12-C〕
 そして、鳥居枠にプロテクター付き車は⑮⑯鳥居金具(上)(下)の組合せが「低く」なるように、
 無し車は⑮⑯鳥居金具(上)(下)の組合せが「高く」なるように長穴で調整し〔図-12-A〕横から㉑ナイロンワッシャー
 ④⑤六角ボルトセットM6×15 BKにて締付けます。〔図-12-D〕
 締付け後、「取付け方法②-3」で仮組み状態の④④六角ナットM6 BKを本締めします。〔図-12-A/左右4か所〕

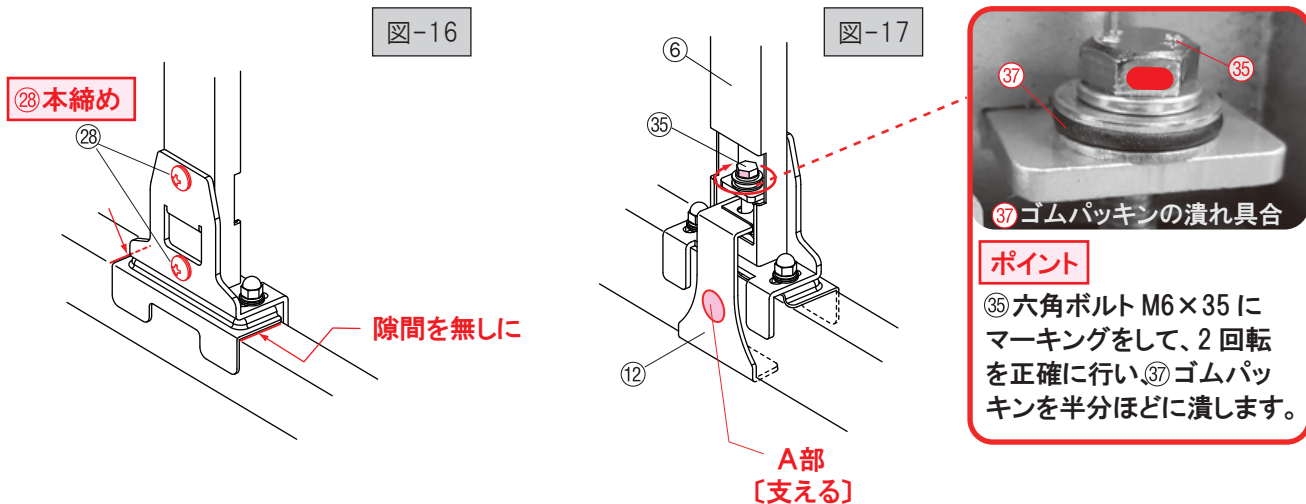


取付け方法⑤

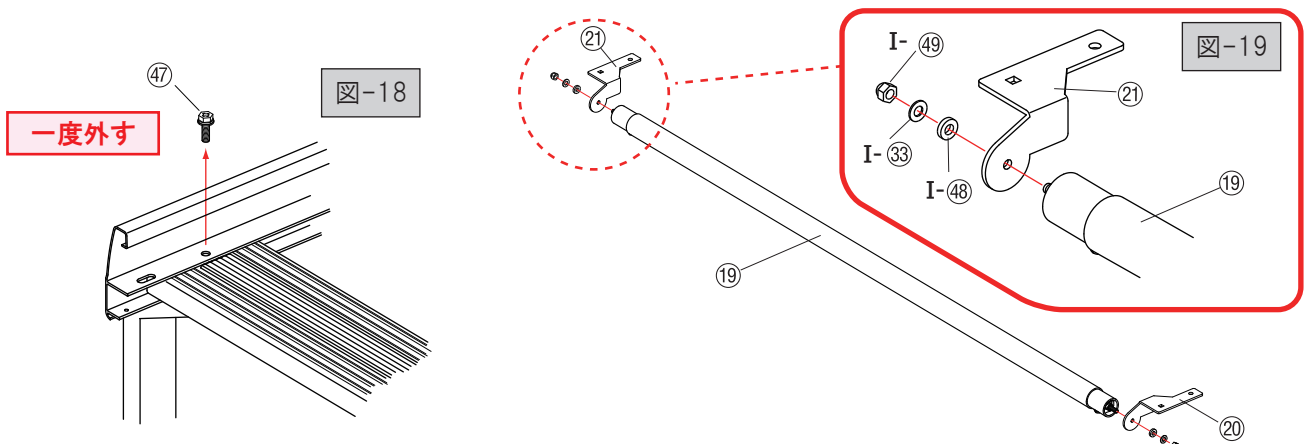
10. トラック荷台後方から見て、【キャリア枠】の⑥後脚パイプの出具合を左右均等に調整します。
この時、⑥後脚パイプは③荷受けフレームとのスキ間が無いかの確認を行ってください。
確認後、③六角ボルトセットM6×35をしっかりと**本締め**します。〔図-16〕



11. ⑪脚ステーベースBの両端に傾きや隙間がないことを確認後に「組立て方法②-5-2」で仮組み状態の
⑫トラスボルトM6を、(+)ドライバーとスパナ(10mm)で**本締め**します。〔図-16〕
その後、⑫締上げフック下部をサイドゲートに引っ掛け、上部は⑥後脚パイプの切り欠き部に入れ、⑬六角ボルト
M6×35を指先にて数回転ねじ込み、**A部**を支えながら、スパナ(10mm)で締めます。〔図-17〕
※締上げ量は【⑬バネ座金M6が閉じた頃から2回転】です。



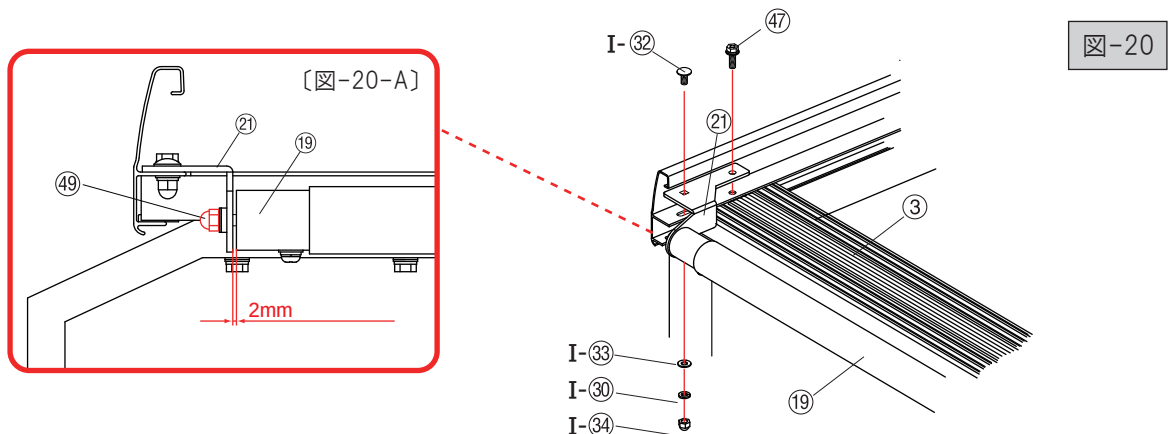
12. 【キャリア枠】の最後部にローラーを取付けます。
「組立て方法③-6」で最後部に仮組みしている⑭六角ボルトセットM6×24を一度外します。〔左右2か所〕〔図-18〕
⑭⑮ローラー金具RLの丸穴に⑯ローラーセットの両端ボルトを通し、⑰ジュラコンワッシャー、⑱平座金M6-13、
⑲緩み止め袋ナットM6にて**軽く指で回す程度の仮締め**をしておきます。〔図-19〕



取付け方法⑥

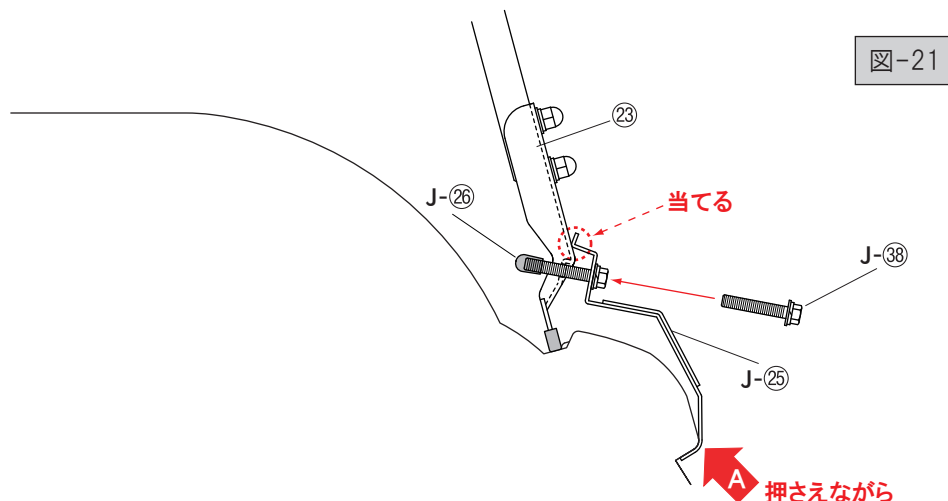
13. 「12」で一度外した④⑦六角ボルトセットM6×24の所に②②①ローラ金具R/Lの前の丸穴を合わせ、再度④⑦六角ボルトセットM6×24で③荷受けフレームと共締めし、後の角穴には、③②角根ボルトM6×12を通し、下から③③平座金M6(小)③③バネ座金M6、③④袋ナットM6にて締付けます。〔図-20〕
その後「12」で仮締め状態のローラ両端部の④⑨緩み止め袋ナットをゆっくりと締付けます。
締付けの際は②②①ローラ金具R/Lと①⑨ローラーセットの末端が **2** の隙間が空き、ローラーがスムーズに回転する事を確認してください。〔図-20-A〕

△注意ー 締め過ぎにより、②②①ローラー金具とローラー末端が接触し、ローラーが回転しなくなります。
両方の隙間を確認しながら、交互に締付けを行ってください。
④⑨緩み止めの袋ナットを使用の為、完全に締付けなくても緩む事はありません。



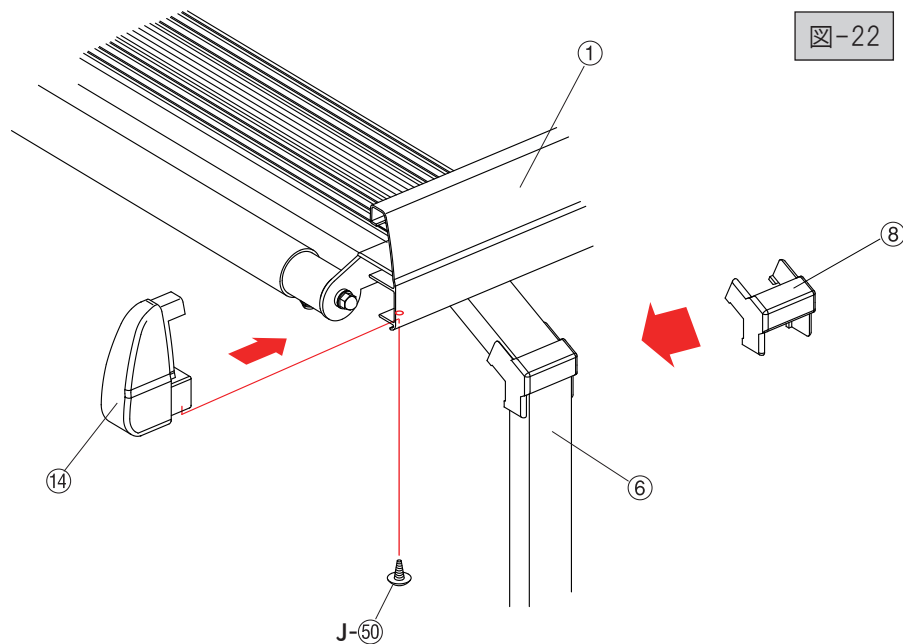
14. ②③インナーランプに②⑤前取付フックを締付けます。
②⑤前取付フックの下をドアに引っ掛け、フック上端は②③インナーランプに当てて、③⑧六角ボルトセットM6×35にて締付けます。締付けの際は「A」部を指で押さえながら2カ所均等に締付けを行ってください。
その後、飛び出したボルトの余りに②⑥安全キャップをはめてください。〔図-21〕

△注意 締付けの際は1カ所だけ一気に締付けしないでください。左右2カ所順番に均等なトルクで締付けてください。



取付け方法⑤

15. ①サイドフレームの両端に⑬⑭先端キャップRLを差込み、下から ⑤⑩タッピングビス5mmにてしっかりと締付けます。そして、⑥脚ステーの上部に⑧外突カバーを被せながらはめ込みます。〔図-22〕



16. 取付け終了後、①サイドフレームを上下左右に揺すり、ガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は再度、取付けをやり直してください。

△注意ー キャリアを取付け後、初期段階では走行によるユルミ、ドアの開閉によるユルミが発生します。必ず定期的増し締めを行い状態をご確認ください。。